



読字英原田 親

No. 576

2009/6/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0045 東京都千代田区
西船場1-1-1 東武ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-0911
倉敷市港島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:0860416-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



実情にそって要望を伝える 県保健福祉課援護班と情報交換

6月3日(水)県庁で県保健福祉部保健福祉課片岡総括参事ほか1名、中国帰国者の日本語教室から岡山県連絡協議会岩間会長ほか4名が出席して新年度を迎え、新担当者との顔合わせも兼ねて情報交換会を持ちました。

- 1. 帰国者のための支援相談員制度が必ずしも、帰国者の要望に答えきれていないので、より
- 2. 中国帰国者定着センターが行っている遠隔学習課程の日本語コース用の教材を我々の日本語教室でも利用できるようにしてほしい。
- 3. 高齢化していく帰国者たちの支援のあり方について、特別プロジェクトを組んで取り組んでほしい。
- 4. 帰国者の多くが参加できる「研修」をより充実させお互いの交流が活発になるようにしてほしい。
- 5. 社会に対する啓蒙・広報をするための機会を作ってほしい。

これらについて連絡調整はするが、権限(執行権と予算)は市町村に移っているとして、県としては限界があるとのことでした。そして来る6月19日に行われる県主催の「中国残留邦人援護担当者等の研修会」の内容説明がありました。(井上進夫)



日中友好協会岡山支部 理事会だより

5月14日と28日の2回、理事会を開きました。2回まとめて報告します。
☆4月22日の靖国神社春季例大祭には、国会議員87人も参拝。07年の39人、08年の62人とくらべて、かなり増えています。
☆5月16日の日中文化講座は80回目となりました。講座の内容はニュースで報告。
☆5月17日には井原市民会館で、内山完造没後50周年の記念式典が行われました。

☆支部総会(6・21)へむけて、議案の分担執筆、よみあわせ、討論などでかなりの時間を使いました。ぜひ目を通してほしいと思います。
☆全国大会(6・13-14東京)には、小林事務局長と真田副理事長が出席する予定です。倉敷支部からは大森支部長が参加します。
☆前年度大会の現勢を回復して増勢に転じようと頑張っています。

理事長 竹内和夫

「遙かなる絆」を見終えて!

—中国と日本を結ぶ強い絆となることを願って—

ゆったりと流れる牡丹江河、アヒルの群れ、草を食む牛、ひまわりの花、のどかな農村の風景がいまでも鮮やかに蘇る。そこは頭道河子(トウダオフーズ)。

2年前、私が参加した岡山県龍爪開拓団の足跡を訪ねて、日中友好を図る旅の中でも一番心に強く残っているところである。

6回にわたって放映されたテレビドラマ「遙かなる絆」はここが舞台だった。あの戦争で残留孤児となった城戸幹さんの物語であり、あの戦争のとき、中国東北部で終戦を迎え、日本への引き揚げを体験したわたしたちにつながる物語だった。

私も、ここでなくなられた開拓団の方たちと、牡丹江省ムーリン県で戦病死した夫の父のために手を合わせた。戦争が終わって今年64年の夏を迎えるが、日本の中国侵略の史実を曲げることなく伝えることと共に、中国に残された日本人孤児を温かく育ててくれた中国の養父母のことを、私達は忘れてはいけない。このドラマが中国と日本を結ぶ強い絆となることを願っている。

朝倉彰子



07年8月 頭道河子(牡丹江河の河原)左から小林、高見、織田

日中岡山9条の会 第2回 読書会

上野千鶴子著

『おひとりさまの老後』を引き続き話し合います。婦人公論の5月号に“40代から備えるひとりの老後”というタイトルで特集が組まれています。興味のある方はこれもお読みください。アラフォー世代には必見ですよ!

- 6月20日(土)午後1時半~
- 岡西公民館にて
- お茶代: 100円

活かせ憲法! 守れ9条! 岡山のつどい

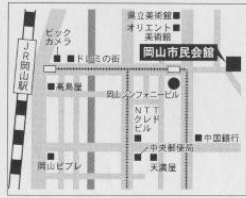
●「戦争をしない」ことを定めた憲法9条は守られているでしょうか?
●わたしたちが人間らしく幸せに生きる権利や命を守る憲法は活かされているでしょうか?



日時 2009年9月19日(土)
13:30~16:30 開場13:00~

会場 岡山市民会館

○参加協力券 500円(大学生以上)



ビッグなゲストによるトークとコンサート

●東京大学教授/全国九条の会事務局長

小森陽一さん

市民運動家として、憲法・平和を守る活動に重要な役割を果たす。著書では「天皇の玉音放送」「生きさせる思想」など多数。



●小説家・放送作家/「九条の会・あさか呼びかけ人

藤本義一さん

「鬼の詩」で直木賞受賞。「おゆさま」「生きいそぎの記」など著書多数。ユーモアを大切に庶民性豊かな人物。



●シンガーソングライター

きたがわ てつさん

「日本国憲法前文」(私の原点であり出発点だ)「ヒロシマの有る国で」「九条」など平和を愛する歌の最先端を歩んでいる。



主催 「活かせ憲法! 守れ9条! 岡山のつどい」実行委員会 岡山市北区伊福町2-18-15 連絡先 090-1683-2050(石井)

活かせ憲法! 守れ9条! 岡山のつどい チケット販売活動スタート

5月30日、岡西公民館で活かせ憲法!守れ9条!岡山のつどいの第2回実行委員会が開かれ14人が参加しました。開会のあいさつで石野洋子代

表委員(旭操・富山9条の会)は、地域を訪問し、ピンポンと鳴らし9条の会からきました。署名をお願いします。"と一言と9条つてなに!"と知らない

人が以外と多いと話されました。また、来年5月には、憲法改正手続き法ともいわれる憲法改正国民投票法案が施行されることについても同様に知られてないと言われました。最後に身近なところから憲法9条を守るとりくみを始めることでこの運動を県内各地から盛り上げることが大切"です。そのためにも「このビッグなつどい成功させましょう!」と訴えま

石井事務局長からこれまでの経過報告と講演者にかかわる苦労話などがありました。

協議に入り、実行委員長に水野三重子(岡山県9条の会発起

人)を、選出しました。

前日刷り上ったチラシ(1万5千枚)、チケット(6千枚)をさっそく配布、目標2千枚をめざし各構成団体の宣伝、販売活動がスタートしました。

私は、日中岡山9条の会、操南地域九条の会及び岡山高退教を代表して参加し、チケット60枚、チラシ1100枚を預かりました。

日中友好(日中不再戦)は、憲法9条を活かす道であるとの立場で、9月19日の「活かせ憲法!守れ9条!岡山のつどい」をぜひ成功させよう!

小林軍治

二つの祖国

(中国残留婦人を祖母として) 寧 夢男

この寄稿文は、倉敷9条の会の会報NO17号に記載されたものです。会及び本人の了解のもと日中新聞に掲載します。

なお、寧 夢男さんの横顔については、倉敷日本語教室の講師、山縣さんの文章で紹介しています。

二つの祖国

(中国残留婦人を祖母として)

私は今まで、世界から兵器が無くなることを考えたこともな

私の祖母は中国残留婦人です。祖母は十代の頃に中国に渡り、写真会社に勤めていました。戦争が終わり、ほとんどの日本人は日本に帰りました。しかし、祖母たちは取り残されました。私の身近にも、祖母と同じような境遇にあった人や中国残留孤児"と言われている人たちがいます。

幸いに祖母は、中国人の祖父と結婚し、5人の子どもを生育て、五十年近くを中国で過ごしました。

私が小学校一年生の時に、祖母と両親と一緒に日本へ戻ってきました。私は二ヶ月間だけ中国の小学校に通い、その後日本の学校に行きました。国は違っていても、先生や友だち、学校での生活には同じようなところがたくさんあると感じています。

幼かった私は、すぐに日本の環境にも慣れ、多くの人たちの援助を得て、日本語も話せるようになり、家では中国語、学校では日本語を使う生活をするようになりました。中国生まれで、中国籍をもっている私は、今では日本語が母国語となっています。

自分には二つの祖国があるという意識があり、この二つの国のことがとても気になる時があります。考えて見れば、この二つの国には長い交流の歴史とともに不幸な歴史があるからです。

今もなお、その痛みを苦しんでいる人たちがいます。それは、戦争を体験した祖母たちにはわからない痛みかもしれません。祖母に戦争のことを

聞くと、口は重く、多くをかたりたくないようです。このような悲しみや苦しみを二度と繰り返さないように、私たちはしていかなければなりません。私の将来の夢は、中国と日本との架け橋となることです。辛い過去があるからこそ、この二つの国が同じアジアの人間として、互いに助け合い、友好を深めていくことが重要です。また、そのことがアジアの平和、世界の平和につながるっていくと私は信じています。

寧 夢男さんの横顔

1990年ハルビンに生まれる。1996年、祖母両親と共に帰国。男の子ではありません。お父さんが夢の中で男の子が生まれてくる夢をみたところから付けた名前です。中国の一人っこ政策の中で、父親の気持ちが反映しているようです。

この春、市内の高校を卒業し、四月から岡山大学に入学し、法学の勉強をしています。

倉敷日本語教室
山縣武次郎

次回の新聞発送作業は7月1日(水)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

葉内和
稲小竹内坪